

# 栗東市中小企業振興会議第20回専門部会要約

平成27年12月22日(火) 午前10時00分～11時30分

栗東市役所2階 第2会議室

## 1. 開会

事務局

---

中野委員、中村委員そして近藤座長が欠席となったので、本日は委員の皆さんのご意見を頂戴して、後日改めて近藤座長と事務局で専門部会としての案を取りまとめたい。つきましては、とりまとめた専門部会案については座長と事務局にご一任をいただきたい。とりまとめた専門部会案については次の中小企業振興会議までに送付させていただくことで、ご理解いただきたい。よろしいでしょうか。

委員

---

はい。

事務局

---

本日の進行については事務局の方でさせていただくことでご理解いただきたい。

## 2. 協議事項

(1) 栗東市商工振興ビジョンロードマップ(専門部会案)の決定について

(2) 商工振興ビジョンロードマップに基づく事業実施計画(専門部会案)の決定について

事務局

---

説明省略。

委員

---

観光事業推進の部分で、京都・大阪とは違う地域特有の外国人観光客の受け入れ方があると思う。外国人をターゲットとした観光地整備などの魅力発信を追記してはど

うか。5年、10年先を見越した対応が必要。

#### 事務局

---

15ページの「観光事業の推進」の右の備考欄に「外国人旅行者向け等のホスピタリティに配慮」という記載がある。商工振興ビジョンという視点で進行管理をしていく中で、社会情勢と合わせた修正も適宜やっていく。観光案内所と連携し、外国人観光客の動向と分析しながら対応していきたい。

#### 委員

---

わかりました。

#### 委員

---

総合戦略と商工振興ビジョンとの位置づけについて

#### 事務局

---

ひと（子ども子育て対策等）、まち（居住、空き家対策等）、しごと（産業・雇用対策）を総合的に取り組んでいくというのが総合戦略であり、そうした中で策定している商工振興ビジョンは商工分野から見た場合の施策である。「しごと」が関連深いと思われているが、それ以外のあらゆる分野に商工からの切り口で関連があるということを表現したものを5～6ページにまとめている。

#### 委員

---

資料2の21ページb販路拡大支援の解説欄に「情報発信において、「日本初」や「日本一」などの発信力のあるキーワードを打ち出すことで販路拡大につなげていきます」とあるが現実にそんなものがあるのか。

#### 事務局

---

例えば、トレーニングセンターは日本一の施設であるし、名神高速道路も日本初の区間開通なので、探せばまだまだあると考えられる。

#### 委員

---

同じ21ページの「ふるさと納税制度をいかして市内外への情報発信に努め～」は上の開設欄の3行目の「近江牛肉味噌」や「栗東プリンいちじく」と関連付けて考えているのか。

## 事務局

---

ふるさと納税のお礼ということで、商品を10月に見直した。栗東地域ブランド推進補助という制度を使っていた商品となっている。ふるさと納税のお礼ということで事業所に働きかけを行っている。これを打ち出していきたい。

## 委員

---

ふるさと納税の現況の規模はどれくらいか。

## 事務局

---

今まで年間100万円前後だったが、ふるさと記念品制度をおととしから導入し、初年度60万円、翌年が120万円、今年見直した後は10月以降だけで3,000万円に近い状況。法人も対象になっていく方向。

ふるさと記念品制度を導入したことによって、経済循環、経済振興というところに一役買っているという部分もある。こういうところに栗東市の特産品をもっと載せていって独自のカラーを出すなどまだまだ改革の余地があると思われる。

## 委員

---

商工振興ビジョンで商業は具体的であるが、工業については、総合戦略の中で市として何か手当てを考えているのか。

## 事務局

---

基本的に総合戦略の中で、商工業の振興については、商工振興ビジョンの域を超えるものはない。

湖南地域はかなりの工業の集積地であるので（仮称）湖南ビジネスマッチングフェアを行えば相当な効果が期待できる。各市との調整が必要になってくると思われるが働きかけなどを行っていきたい。

商工会さんとは工業振興の部分でも連携をお願いしたい。

## オブザーバー（商工会）

---

湖南ビジネスマッチングフェアについては湖南4市で商工会（会議所）での集まりがある。会員事業所にアンケートをとったところ、販売・仕入れとも栗東市は湖南4市との付き合いが多い。そういうことを考えると湖南4市の枠組みの中でビジネスマッチング的な事業ができないか提案はしているところである。

## 委員

---

産業支援プラザのコマーシャルで、地域資源を使った、新事業応援ファンドのお知

らせがあった。行政からのご協力もお願いしたい。

事務局

---

今年度は地域資源活用ビジョンが策定されたので、どんどん打ち出していきたい。

委員

---

分煙対策をしている事業者に補助金を出すなどすれば、栗東市のイメージアップにつながるのでは。

事務局

---

国の小規模事業者の持続化補助金で分煙対策の改造に対して補助金は対象か。

オブザーバー（商工会）

---

対象となる。

事務局

---

国が3分の2の補助をするので、自己負担分である残りの3分の1に対して栗東市が一定の支援をしていく制度化のため、現在動きだしているのでPRしていきたい。

事務局

---

他にご意見ないようでしたら、協議事項の1点目と2点目につきましては、ご意見を事務局でとりまとめ、近藤座長にご報告し、最終の専門部会案としてとりまとめていきますのでよろしくご意見致します。

### (3) 中小企業振興会議設置要綱の改正案について

事務局

---

事務局説明：省略

委員

---

毎年の見直しと、5年間全体での進行管理をしていくのか。

事務局

---

現在は前半期ロードマップに基づく5年間の実施計画になっているが、全体として

は10年間の設定しているのので、後半期のロードマップにもとづく事業実施計画を作っていかなければならない。それと合わせて、毎年社会情勢、経済情勢が変わった時点で実施計画が整合しているのか意見を頂戴し、その情勢に合ったものにしていかなくてはならない。中小企業振興会議と専門部会をこれからも年に数回開いていきたいと考えている。

事務局

---

改正案についてよろしいですか。ご了承いただいたということで、中小企業振興会議に諮らせていただきます。

#### (4)その他

事務局

---

事務局説明：省略

## 4. 閉会

事務局

---

今年度の専門部会については本日が最後となります。委員の皆様にはお忙しい中、3回にわたって貴重なご意見をいただきまして、改めて感謝申し上げます。それではこれもちまして第20回専門部会を終了とさせていただきます。